

Kyoto University Public Lecture "Shunju Kougi" Spring 2014

京都大学公開講座 春秋講義

平成26年度春季講義

「テーマ」日本の食を考える

4月9日〈水〉

20世紀日本の食生活史
—— 残飯、牛乳、フードコート
藤原 辰史 准教授（人文科学研究所）

4月16日〈水〉

食の学び方、活かし方
河田 照雄 教授（農学研究科）

4月23日〈水〉

世界の食料需給と
貿易自由化・環境問題
加賀爪 優 教授（農学研究科）

〔会場〕

京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール（京都市左京区吉田本町）
TEL 075-753-2285

〔受講定員〕500名（各日とも当日先着順）

18:30～20:00（開場18:00）

受講料無料・申込み不要

〔主催〕京都大学 〔後援〕京都府／京都市

〔お問合せ〕京都大学渉外部広報・社会連携推進室

〔電話〕075(753)2233（月～金 9:00～17:00）

〔メール〕kinen52@mail.adm.kyoto-u.ac.jp

〔住所〕〒606-8501 京都市左京区吉田本町

〔FAX〕075(753)2246

「京の府民大学」対象講座



京都大学
KYOTO UNIVERSITY

京都大学公開講座

春秋講義

平成26年度春季講義

春秋講義は、京都大学における学術研究活動の中で培われてきた知的資源について、広く学内外の人々と共有を図るため、1988（昭和63）年秋から開講しています。年に2回、春と秋にテーマをもうけて講義を行います。

講義の概要

「テーマ」日本の食を考える

4月9日〈水〉

18:30～20:00

20世紀日本の食生活史

—— 残飯、牛乳、フードコート



藤原 辰史 准教授（人文科学研究所）

日本の食べものをめぐる風景はどのように変化したのでしょうか。もちろん、それを洋食の普及や調理器具の進歩といった言葉で説明することは比較的難しくないでしょう。しかし、日本の食の歴史の暗部は見逃されがちです。残飯、飢え、孤食など、できれば考えたくない側面こそが、現代史の基底にあるのではないのでしょうか。本講義では、20世紀日本の食生活を振り返ることで、21世紀の食の可能性について考えてみたいと思います。

4月16日〈水〉

18:30～20:00

食の学び方、活かし方

河田 照雄 教授（農学研究科）



近頃、和食をはじめとしてなにかと「食」の話題が多くなっています。「食」が私たちの日々の生活や健康にたいへん密接に関係しているからに他なりません。喜ばしいものばかりではありません。「食」についての情報を正しく理解し、知識として活用することが健やかな暮らしを支えてくれます。本講義では、日常生活の中での「食」の役割を再考するとともに、肥満やメタボなど健康との関わりについてもお話したいと思います。

4月23日〈水〉

18:30～20:00

世界の食料需給と貿易自由化・環境問題

加賀爪 優 教授（農学研究科）



現在、先進国では飽食による肥満が問題になる一方で、途上国では恒常的に飢餓や栄養不良人口が深刻な問題になっています。国際機関の予測によると、「今後の国際食料需給は、先進国では過剰傾向、途上国では不足傾向で推移し、先進国の過剰は、途上国の不足を凌駕する状況で推移する」ことを示しています。この講義では、こうした国際的な食料問題に対して、食料の貿易自由化のもたらす経済面および環境面への影響を議論します。

会場

京都大学
百周年時計台記念館
百周年記念ホール
（京都市左京区吉田本町）



- ◆市バス 系統31・65・201・206「京大正門前」下車／系統3・17・203「百万遍」下車
 - ◆京阪電車、叡山電鉄「出町柳」下車、徒歩20分
 - ◆地下鉄東西線「東山」下車、徒歩約25分もしくは市バス系統31・201・206「京大正門前」下車
- ※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用下さい。

京都大学渉外部広報・社会連携推進室では、ご登録いただいた方に、公開講座など開催ごとにメール、ファックス、ハガキで情報をお知らせします。

メールでの案内をご希望の方は、ホームページ（<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education/open>）の「公開講座お知らせメール」申込フォームから、ファックス、ハガキでの案内をご希望の方は、「公開講座案内希望」と明記の上、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号（ファックスの方はファックス番号も加えて）を記入し、下記までお申込ください。

〔ファックス〕 075-753-2246 〔ハガキ〕 〒606-8501京都市左京区吉田本町 京都大学渉外部広報・社会連携推進室